

## 第5回再就職等監視委員会 議事要旨

### 1. 開催日時等

日 時：平成24年6月14日（木）13：30～14：50

場 所：大手町合同庁舎3号館9階 再就職等監視委員会 委員会室

出席者：羽柴委員長、伊東委員、篠原委員、番委員、笠委員  
吉住事務局長、古田参事官

### 2. 議事等

- (1) 再就職等規制等に関する周知活動の経過報告についての説明・質疑が行われた。
- (2) 例外承認の審査に際しての留意点についての説明・質疑が行われた。
- (3) 公表情報の確認作業についての説明・質疑が行われた。
- (4) 第4回委員会の議事録が確認された。

### 3. 委員指摘事項等

- 再就職等規制等に関する周知活動の経過報告について
  - ・ 府省等によって取組の熱心さに温度差があるのではないかと。特に周知を行っていない府省等に対しては、周知を行うよう働きかけるべき。
  - ・ このような周知の取組を継続する一方で、個別具体的な違法行為を監視・摘発していくことで、各府省等も真剣に取り組むようになるのではないかと。
- 例外承認の審査に際しての留意点について
  - ・ 許認可や行政指導などは年々制度の在り方が変わっており、規制緩和される分野もあれば規制強化が行われる分野もある。例外承認の審査に際してはそのような動きも十分踏まえる必要があり、画一的な考え方で臨むのは適当ではない。
  - ・ まだ実例はない状況ではあるが、例外承認審査の標準処理期間をある程度具体的に設定しておくべきではないかと。
- 公表情報の確認作業について
  - ・ 離職日と再就職日が近接している場合、その間に求職活動を行ったと言われても疑問を禁じ得ないケースもあろう。
  - ・ いわゆる「連続ポスト」については、それ自体は現行制度上問題ないとしても、一般論として、同一府省等の指定席になっていることが公務の公正性を歪める一因になっているのではないかとという疑念は残る。
- その他、大阪府・大阪市の再就職等規制について、以下のような議論があった。
  - ・ 国民からの信頼の実現と公務の公正性の確保という視点があり、大阪の場合は前者を重視しているような印象を受けるが、当委員会の場合どちらに軸足を置いて活動していくのかについてどう考えるべきか。
  - ・ 大阪の制度が実際にどのように運用されるのかは我々にとっても参考になるので、今後も動きを注視していくべき。

### 4. 次回予定

次回会議は、平成24年7月5日（木）13：30に開催することとなった。

(注)本議事要旨の内容については、今後変更の可能性があります。